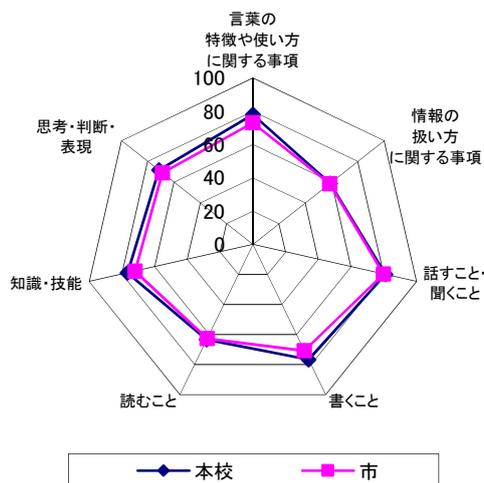


宇都宮市立上戸祭小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	78.0	73.0	75.5
	情報の扱い方に関する事項	58.9	58.5	59.0
	話すこと・聞くこと	80.9	79.8	75.9
	書くこと	76.6	70.7	71.7
	読むこと	63.4	62.8	62.5
観点別	知識・技能	76.6	72.0	74.4
	思考・判断・表現	71.6	69.0	68.5

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○高学年の配当漢字が正しく読み書きできている。 ●謙譲語の使い方を理解する問題の平均正答率は62.9%で、市の平均を2.3ポイント下回った。	・敬語を正しく理解するための練習問題に繰り返し取り組ませ、より一層の定着を図る。 ・敬語の具体的な使用場面や正しい使い方が身に付くよう、日常生活の中の機会を捉えて、継続的に指導していく。
情報の扱い方に関する事項	○領域全体の平均正答率は58.9%で、市の平均を0.4ポイント上回っている。	・目的に応じた情報を選び、情報と情報の関係について正しく理解し、文章にまとめることができるような機会を他教科でも増やしていく。
話すこと・聞くこと	○領域全体の平均正答率は80.9%で、市の平均を1.1ポイント上回っている。 ○話し手や司会者の工夫を捉えながら話し合いの内容を理解することができている。	・話し手の役割を理解して、計画的に話し合うことができるよう、学習グループで話し合いの仕方を工夫する。 ・大切なことを聞き逃さないようにメモを取る習慣が身に付くよう継続して声掛けを行う。
書くこと	○領域全体の平均正答率は76.6%で、市の平均を5.9ポイント上回っている。 ○自分の意見とその理由を明確にして書く設問の平均正答率は88.7%で、指定された長さで文章を書いたり、賛成しない意見への反論を書いたりする設問でも8割近い正答率である。 ○文章を書く力は4項目すべてで市の平均を大きく上回っている。	・文章構成の型を繰り返し提示し、身近なテーマで小作文を書くことで、文章に書き慣れさせていく。 ・お互いの作文を読みあうことで、友達の良い表現に気づいたり、触れたりする機会を意図的に増やす。
読むこと	○領域全体の平均正答率は63.4%で、市の平均を0.6ポイント上回っている。 ●登場人物の心情について描写をもとに捉える問題の正答率は、市の平均を上回ってはいるものの35.5%と低かった。	・状況・描写を的確に捉え、そこから登場人物の心情を読み取ることができるように、読書の機会を増やす。 ・説明文の練習問題を繰り返し解き、内容理解力を高める ・新聞やコラム等、様々なジャンルの文章に触れる機会を意図的に増やす。